

陳情

結論の付いた陳情は次のとおりです。

●市による私有地掘削工事及びその後の不適切対応についての調査と是正を求める(7・13号)
(不採択理由)

本件は、当事者間での協議や司法的手続きを通じて解決が図られる性質の問題であり、議会

の権限の範囲を逸脱していることから、意に沿い難い。

●横田基地での米軍によるパラシュート降下訓練の全面的停止を求める陳情書(8・1号)
(不採択理由)

本陳情で求めているパラシュート降下訓練の全面的な停止については、日米安全保障条約及び日米地位協定で認められている在日米軍の運用の一環として実施されており、国の専管事項であることから、意に沿い難い。

●福生市下水道事業における不当利得の疑義説明を求める陳情書(8・2号)
(不採択理由)

下水道法第3条の規定は、市がその費用まで負担することを求め、定めたものではなく、都市計画法第39条は、開発行為により設置された公共施設の管理が市に帰属することを定めた規定であり、管理に要する費用は市に求めるといえるものではないことから、意に沿い難い。

討論

令和8年度福生市一般会計予算

賛成

市財政を圧迫しないとしていた福生駅西口地区市街地再開発事業の前提条件は完全に崩れ去った。公園使用料徴収の開始は表現の自由を保障すべき自治体の役割に逆行する。市が消極的であるコミュニケーションの導入や少人数学級に際し、その実現に向けた具体的な検討の着手を求める。市民の切実な声や憲法が保障する権利よりも施設削減や根拠の崩れた大規模事業継続が優先されていることから、本予算に反対する。

賛成

少子高齢化への対応、施設の老朽化への対応、物価高騰・人件費の上昇への対応、外国人住民の増加への対応の四つの重要施策を基本とし、プレミアム付商品券の販売、福生野球場や中央体育館の改修改築工事の実施、福生市教育ビジョン2025-2029に基づく教育施策の推進、英作文AI添削サービス「ライップ」の導入など当市の問題や諸課題を的確に捉えた予算編成であることから、本予算に賛成する。

賛成

物価高対策ではプレミアム付商品券販売、シニアお買物券配布、DX推進ではフロントヤード改革を軸とした持続可能な行政

運営推進、医療・福祉分野では小児インフルエンザワクチン予防接種費用助成の開始、教育分野では牛浜もくせい中学校開校、英語教育充実、平和学習事業の実施など、人件費上昇や物価高騰の影響を受ける中で持続可能な市政運営に向け、子育て、教育、平和、福祉への熱意を感じる本予算に賛成する。

賛成

長引く物価高騰や円安、深刻な人手不足、不透明な国際情勢などの基礎自治体の根幹を揺るがす課題に対し時代を見据えた戦略的な予算編成がなされている。ふるさと納税事業においてシティプロモーションへとかじを切ったこと、教育分野における校務DXの推進、英語教育における4技能をバランスよく育成する環境の前進を高く評価する。今後も力強い市政運営が展開されるように強く要望し、本予算に賛成する。

賛成

中央体育館改良事業及び福生野球場改良事業はスポーツを通じた健康増進、さらには、人づくり・街づくりのための人材育成に役立つ。平和学習広島派遣事業は、平和意識を自らの価値観として習得する機会となる。福祉政策担当主幹の配置により分野横断的な福祉政策の一層の推進が期待できる。物価高騰対策としてプレミアム付商品券やシニアお買物券配布事業などの事業も実施されることから、本予算に賛成する。

賛成

「子育てするならふっさ」子どもまんなかふっさ」を掲げる本市は福生第四小学校の学童クラブ設置工事費用を計上、グローバル人材育成の観点から中学校に英作文AI添削サービス「ライップ」を導入、防災食育センターに主幹職を配置し運営管理と機能強化を図るとともに、プレミアム付商品券事業などの物価高対策を実施。今後も市民生活を守り抜く取組を推進することを願い、本予算に賛成する。

賛成

そのほか次の議案等に対しても討論がありました。

●令和8年度福生市国民健康保険特別会計予算

●令和8年度福生市介護保険特別会計予算

●令和8年度福生市後期高齢者医療特別会計予算

●横田基地での米軍によるパラシュート降下訓練の全面的停止を求める陳情書

委員会の審査から

各常任委員会から報告された
主な審査概要をまとめました

建設環境委員会

3月16日に委員会が開催され、3件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。また、陳情2件については、不採択となりました。

福生市空家等の適正管理に関する条例

特定空家等が行政代執行にまで至った場合、市は所有者等へ代執行に要した費用を納付命令という形で請求し費用弁償を求める。納付されない場合は差し押さえや公売による換価手続きなど強制的な方法によって徴収することになる。

令和7年度福生市一般会計補正予算(第9号)

(建設環境委員会所管)
熊川駅等バリアフリー整備事業について、繰越明許ではなく整備工事費を減額とした理由と減額は次年度当初予算に計上しているのか伺う。

令和7年度は道路工事を行わないのを機に本事業における道路整備内容を再検討し、その内容を踏まえた工事費を改め



▲多摩川堤防沿いの桜の伐採状況を視察

令和8年度福生市下水道事業会計予算
令和7年度はウォータIPPP導入可能性調査として773万2千円が予算計上されていたが、令和8年度についてはどうされるのか伺う。

令和7年度に実施した調査は工期を迎え成果品の納品を受けた。今後については報告書の内容を踏まえ判断していくことから令和8年度の当初予算には計上していない。

市民厚生委員会

3月17日に委員会が開催され、8件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。

福生市乳幼児の医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例

情報連携システム(PMH)の導入の背景とシステムの概要を伺う。

以前より医療費助成等の分野においてレセプト等、紙での情報連携に係る負担が課題となっていたことから、デジタル庁が自治体と医療機関等をつなぐ情報連携システム(PMH)を開発した。市が本システムを導入することにより、令和8年4月以降は対象者が医療機関等を受診する際に、マイナンバーカードを提示することで医療機関が国のシステムにアクセスし、医療費助成の情報を取得できるようになる。

福生市介護保険条例の一部を改正する条例

今回の税制改正の影響について伺う。

現在運営している第9期の介護保険事業計画は、令和6年度から8年度までの3年間の計画財政としており、令和8年度に税制改正の影響から所得が増減し、保険料段階に変更が生じた場合においても、令和7年度と変わらず同額の保険料段階となる。

福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例

子ども・子育て支援納付金を医療保険制度の保険料として徴収する理由について伺う。

医療保険制度は全世界が加入し、企業も拠出して

していること、出産育児一時金など出産に関連する給付が行われていること、また、既に介護保険料を医療保険から徴収している等の理由により、子ども・子育て支援金についても医療保険と併せて徴収するとしている。

令和7年度福生市一般会計補正予算(第9号)

(市民厚生委員会所管)

区市町村支援事業補助金の内容を伺う。

後期高齢者医療制度において、都内の住所移動者に対して住所地特例が適用されず、住所地特例に関する施設が多く存在する自治体の財政負担が課題となっていることから、特別調整交付金のうち保険者インセンティブ分を活用し交付されるもので、健診受診率割、ジェネリック医薬品使用率割及び施設備在割の3項目について、それぞれ算定したものが交付額となっている。

令和8年度福生市国民健康保険特別会計予算

口座振替申込奨励品の詳細について伺う。

口座振替を促進することが滞納を未然に防ぐこと、収納率向上対策として、新たに口座振替の登録をされた方へ抽